

いしかわ 地域づくり  
engine

# 円陣

2008

実施報告書

「地域づくり円陣」とは、地域づくりの原動力としての“エンジン”と、戦略・戦術を練り、意思統一しながら士気を高め合う“円陣”を掛け合わせたものである。

## 地域の価値を発見、磨く、活かす

みんなが輝くための“3つの方法”を考えよう

開催日 平成20年11月8日(土)  
会場 分科会 石川ハイテク交流センター・  
能美市内・白山市内  
全体会 石川ハイテク交流センター

主催 石川地域づくり協会  
応援 石川県内の地域づくり団体のみなさん

### 【目次】

歓迎のメッセージ・・・ 2  
分科会・・・ 4  
第1分科会・・・ 5 / 第2分科会・・・ 11 / 第3分科会・・・ 15 / 第4分科会・・・ 19 / 第5分科会・・・ 25  
全体会 ディスカッション・・・ 31  
恒例！「地域づくり円陣」交流会・・・ 54

# いしかわ地域づくり円陣2008 歓迎のメッセージ

主催者あいさつ

中本 保

石川地域づくり協会会長代理、石川県企画振興部次長

「いしかわ地域づくり円陣2008」の開催にあたりまして、ひと言ごあいさつさせていただきます。

本日は県内外から多くの皆さま方にご参加をいただき、厚く御礼を申し上げます。また、皆さま方には日頃から、それぞれの地域でさまざまな地域づくり活動に熱心に取り組んでおられるということに、あらためて感謝を申し上げますとともに、深く敬意を表する次第です。

石川地域づくり協会は、民間の団体による地域づくり活動のご支援をさせていただくことを目的に県が平成6年に設立いたしました。構成団体の数も当初は41団体でしたが、現在は121団体と拡大してきています。これはひとえに皆さま方のこれまでのご活動が高く評価され、幅広い地域に根付いてきたたまものと、感謝を申し上げる次第です。

また、協会の運営につきましても、できるだけ皆さま方の主体性が発揮されやすいよう、運営委員の方々による協議によって進められております。平成8年度の初開催以来、今回で13回目を数えますが、今回も企画から運営まで皆さまの手作りであると伺っています。

さて、本県でも他県と同様に、特にいわゆる過疎地域を中心にしまして、依然として人口減少や少子高齢化に歯止めがかかっておりません。農林水産業の担い手あるいは医師の不足など、多くの課題を抱えています。地域を元気にさせるためには、今後、交流人口の拡大や定住促進を図っていく必要がありますが、地域を元気にさせていく取り組みを続けていくことが不可欠でございます。ただ、



口で言うのは大変たやすいことですが、なかなか一朝一夕にはかなうものではありません。まずは皆さま方が今現在取り組んでおられます地域づくり活動を、地道ながらもさらに活性化させていただくことが大切です。それぞれの地域が持ちます自然や伝統、文化、暮らしなど、さまざまな地域資源を掘り起こし、さらに磨きをかけていただく。そして、新たな価値を創出していく。このような活動が大変重要なのではないかと考えています。

今回の「いしかわ地域づくり円陣2008」はこうした背景や課題をとらえまして、テーマも「地域の価値を発見、磨く、活かす」ということで、まさに時宜を得たものではないかと考えています。皆さま方には本日の機会を通じて、さらに見聞を広められ、今後のご活躍に繋げていただくということを切に望んでおります。

最後に、開催までに多大なご尽力をいただきました運営委員やコーディネーターの皆さま方、そして、地元能美市の関係各位、分科会関係団体等の皆さま方には、心から感謝を申し上げますとともに、今後とも積極的な地域づくり活動の展開をお願いいたしまして、開会のごあいさつにさせていただきます。

来賓あいさつ  
高塚 善衛  
能美市副市長

本来ならば今日、市長が参りまして皆さま方に歓迎のごあいさつを申し上げるべきでございますが、あいにく所用がございまして出席できませんので、私が市長の歓迎の言葉を代読させていただきます。

本日は「いしかわ地域づくり円陣2008」が、石川ハイテク交流センターで盛大に開催されるにあたり、地元市長として心より歓迎申し上げますとともに、皆さまが日ごろから地域づくり、あるいは地域おこしにご尽力されていることに対し、心から敬意を表する次第です。

この「いしかわ地域づくり円陣」は、各地で地域づくり活動に取り組んでおられる皆さんの情報交換の場、交流の場として毎年、石川地域づくり協会が主催されているもので、前身である地域づくり屋台などを含めると、10年以上も前から継続して開催されているシンポジウムであるとお聞きしております。昨年は3月25日に発生した能登半島地震で被災された地域の1日も早い復興を願いながら、真に持続可能な地域づくりについて、被害が最も大きかった輪島市で皆さまが円陣を組み、活発な議論をされたと聞いております。本年は「地域の価値を発見、磨く、活かす」をメインテーマに、能美市や白山市で活動されている地域づくり団体がそれぞれテーマごとに分科会に分かれ、これからのまちづくりには欠かせない、市民と行政との協働や、地域資源を活用したまちづくりなどについて、活発な意見交換や情報交換が行われるのではないかと考えております。

この後の全体会では、分科会の概要や新たな気付きなどの報告や、地域の価値を発見する方法についての意見交換が行われることになっています。皆さまの地道な活動が地域に



お住まいの方にとって、住み慣れた地域で自分らしく生き生きと安心して暮らすことができるための、大きな支えとなると思いますので、ぜひこれまで以上に活発な活動を継続されますようお願い申し上げます。

また、石川地域づくり協会の参加団体数も増えてきていると伺っており、今後さらにこのシンポジウムなどを通じて、地域づくり団体の交流やネットワークが広がり、より多くの団体の方の参加が期待できるのではないかと考えています。

終わりに、本会の開催にご尽力されました関係各位の皆さまにお礼申し上げますとともに、ご参加いただいた皆さまのご健勝とさらなるご活躍をご祈念申し上げ、歓迎のごあいさつとさせていただきます。平成20年11月8日、能美市長酒井悌次郎。代読させていただきました。

本日はどうもご苦労さまでした。